

蓮正寺

れんしょうじ



本堂外観



本堂内陣

蓮正寺は、平成四年六月、埼玉県桶川市下日出谷に宗門で推進する都市開教の布教所「浄土真宗本願寺派桶川布教所」として開設いたしました。

その後、平成八年八月に現在地に寺地を取得、平成九年四月一日に、本堂・庫裏が完成し移転いたしました。蓮正寺は「こころ安らぐお寺」を目指して都市開教活動が続けてまいりました。平成十二年八月には非法人教会「蓮正教会」として、浄土真宗本願寺派に正式に包括され、平成十六年一月八日に埼玉県庁より宗教法人の認証を得、同月十三日に宗教法人「蓮正寺」を設立し現在に至っています。

平成十三年五月に、新しくご製作していただいた阿弥陀如来御木像の木仏点検を受け頂戴しに、ご門徒の方々とご一緒に「本山」「西本願寺」に参拝したことが、有難い思い出として心に深く残っています。

お寺の行事としては、毎月の定例法話会五月は宗祖降誕会として勤めています、毎年恒例の法要として、一月一日の元旦会、三月の春季彼岸会・永代経法要、八月の盆会、九月の秋季彼岸会そして、十一月には報恩講をお勤めしています。

また、蓮正寺門信徒会主催で「お寺の旅行」を行っています。それから文化活動として、毎月一回「書道の会」を開催しています（八月、十二月は休会）。

ある先生（ご住職）から、浄土真宗寺院の社会性とは「人々に阿弥陀仏の救いを伝え、安心を与える場所であることである」とお聞きしました。蓮正寺も「少しでも多くの有縁の方々の安心の場所、こころ安らぐ場」となるように、微力ながら努力させていただきたいと考えています。



報恩講法要